



2026年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年7月28日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 永井 崇 (TEL) 052-963-7501
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		調整後 営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の 所有者に帰属する 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	142,352	0.2	8,658	△14.0	9,165	△6.0	9,721	△14.9	6,920	△6.7	6,416	△5.3
2025年3月期第1四半期	142,094	0.1	10,067	15.2	9,752	21.9	11,425	14.8	7,420	4.8	6,776	3.8

	四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
2026年3月期第1四半期	8,945	△15.7	31.18		31.16	
2025年3月期第1四半期	10,616	△42.1	31.80		31.78	

(注) 調整後営業利益は、営業利益から、特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)、有給休暇引当を調整し算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2026年3月期第1四半期	791,382		471,994		432,491		54.7	
2025年3月期	782,974		469,144		429,278		54.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	26.00	47.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		16.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 2026年3月期の期末配当予想は、未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		調整後営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	275,000	△3.0	12,500	△31.5	13,400	△35.3	13,000	△33.7	8,000	△34.2	円 銭 38.87
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2 2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で通期の合理的な業績予想が困難であるため、第2四半期(累計)の業績予想のみを記載しております。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	217,243,845株	2025年3月期	217,243,845株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	11,415,261株	2025年3月期	11,415,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	205,828,650株	2025年3月期1Q	213,123,139株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報)	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足説明資料	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

	売上収益	営業利益	調整後 営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益
当四半期	142,352	8,658	9,165	9,721	6,416
前年同四半期	142,094	10,067	9,752	11,425	6,776
前年同期差 (増減率)	258 (0.2%)	-1,408 (-14.0%)	-587 (-6.0%)	-1,703 (-14.9%)	-360 (-5.3%)

(注) 調整後営業利益は、営業利益から、特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)、有給休暇引当を調整し算出しております。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、エンジンバルブなどの自動車関連部品で受注が増加したことから、前年同期比2億58百万円増収の1,423億52百万円となりました。なお、売上収益の詳細はセグメントごとの経営成績をご覧ください。

主要原材料である鉄屑価格は引き続き高い水準で推移しました。ニッケル価格は、一時的に弱含むこともありましたが、おおむね安定して推移しました。原油・LNG市況は、景気減速懸念などで軟調に推移しながらも、中東情勢の緊迫化に伴う供給懸念などにより一時市況が上昇する場面も見受けられました。全般的に原燃料価格は高位であり、徹底したコスト削減および販売価格への反映に継続して取り組み、適正マージン確保に努めております。

この結果、当期において高合金プロセス改革プロジェクトの生産アロケーション変更に伴う一時費用が17億36百万円発生したこともあり、営業利益は、前年同期比14億8百万円減益の86億58百万円、税引前四半期利益は前年同期比17億3百万円減益の97億21百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比3億60百万円減益の64億16百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

	売上収益			営業利益		
	前年同四半期	当四半期	前年同期差 (増減率)	前年同四半期	当四半期	前年同期差
特殊鋼鋼材	53,427	51,216	-2,211 (-4.1%)	3,319	2,596	-723
機能材料・ 磁性材料	49,694	48,302	-1,392 (-2.8%)	2,962	3,057	95
自動車部品・ 産業機械部品	27,196	29,299	2,102 (7.7%)	2,800	1,446	-1,353
エンジニアリング	4,616	6,815	2,199 (47.6%)	240	680	440
流通・サービス	7,159	6,719	-439 (-6.1%)	754	851	97

特殊鋼鋼材

構造用鋼においては、自動車関連の販売不振の影響などにより需要が減少したこと、また産業機械関連の需要も低調であったことにより数量が減少しました。また、工具鋼に関しても自動車関連の需要低迷を受け数量は減少しました。この結果、当セグメントは前年同期比で減収減益となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス鋼は、データセンター用のHDD(ハードディスクドライブ)向け需要に関しては上向いてきたものの、産業機械関連の需要回復は引き続き足踏みの状態が継続しており、受注に関しては若干前年を下回る水準となりました。高合金は自動車向けで数量が増加しました。磁石製品は、中国重希土類の輸出規制の強化に伴い、Dy(ジスプロシウム)、Tb(テルビウム)などの重希土類フリーが特徴である当社磁石への需要が上向いており、売上収益は増加しました。チタン製品は、医療関連において一部在庫調整が継続していることなどにより、売上収益は減少

しました。この結果、当セグメントの営業利益は前期に中国磁石子会社の清算費用が発生したこともあり、前年同期比では増益となりました。

自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品は北米などにおける需要増加を受け、売上収益は増加しました。精密鑄造品はターボ関連の需要が増加しました。型鍛造品は自動車およびトラック関連の需要減少などにより、数量は減少しました。自由鍛造品は、航空機関連におけるボーイング減産に伴う影響や掘削関連における関税政策など政策動向を見定める動きに伴う在庫調整の影響を受け、売上収益は減少しました。この結果、当セグメントの売上収益は前年同期比で増収となったものの、営業利益は高合金プロセス改革プロジェクトの生産アロケーション変更に伴う一時費用などにより、減益となりました。

エンジニアリング

鉄鋼用溶解設備およびメンテナンス部品の売上が増加したことなどにより、当セグメントは前年同期比で増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末に比べ84億7百万円増加し7,913億82百万円となりました。資産合計の増加の主な内訳は、その他の金融資産（非流動資産）の増加34億94百万円、有形固定資産の増加27億97百万円であります。

資産合計の増加の主な要因は、下記のとおりであります。

- ・その他の金融資産（非流動資産）は、保有株式の時価の上昇等により増加しております。
- ・有形固定資産は、成長分野への戦略設備投資等により増加しております。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配持分を含めた資本は、前期末に比べ28億50百万円増加し4,719億94百万円となりました。資本の増加の主な内訳は、その他の資本の構成要素の増加20億54百万円、利益剰余金の増加10億53百万円であります。

資本の増加の主な要因は、下記のとおりであります。

- ・保有株式の時価の上昇等によりその他の資本の構成要素が増加しております。
- ・親会社の所有者に帰属する四半期利益64億16百万円の計上等により利益剰余金は増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国通商政策とそれに伴う各国の対応が世界経済に下押し圧力を与える可能性があります。通商政策の変化が、物価変動に伴う個人消費、企業活動における生産・販売戦略、国際的なサプライチェーンの分断リスク、金利政策や為替変動など、グローバルでの経済活動へ様々な影響を及ぼす可能性があります。これに加えて、ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスクも内包した経営環境となっております。

当社の主要需要先である自動車関連の需要は、日系自動車メーカーの販売低迷を受けて需要が減少しております。また、産業機械関連においても日系メーカーの生産活動水準は低迷しており、回復のペースは鈍化しております。半導体製造装置関連需要においても一部ユーザーでは在庫調整が進展してきたものの、2025年度後半まで調整が継続するものと考えております。

このような状況の中、コスト面においては、引き続き徹底したコスト削減努力を継続するとともに、労務コストや物価などのコストプッシュに対し適正な価格転嫁を進めることにより適正マージンの確保に努めてまいります。また、ベースとなる鋼材売上数量が低迷するなかで、数量変化に応じた生産体制の検討、設備投資案件の厳選など、生産数量変化に柔軟に対応するとともに、当社にとって競争力の高い成長市場製品拡大に取り組んでまいります。

第2四半期累計期間における連結業績につきましては、前回（2025年5月8日）公表した業績予想から大きなかい離はないため、修正は行っておりません。通期の業績予想につきましては米国の通商政策の影響を現時点で引き続き見通すことが困難であり、想定できる段階で開示したいと考えております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	61,218	62,287
営業債権及びその他の債権	147,433	148,023
契約資産	5,419	5,515
棚卸資産	195,483	194,981
その他の金融資産	939	1,045
その他の流動資産	6,505	6,754
流動資産合計	416,999	418,608
非流動資産		
有形固定資産	234,469	237,267
使用権資産	6,362	6,453
無形資産	6,559	6,794
投資不動産	4,224	4,293
持分法で会計処理されている投資	21,154	21,254
その他の金融資産	54,454	57,949
退職給付に係る資産	34,392	34,563
繰延税金資産	3,227	3,053
その他の非流動資産	1,129	1,145
非流動資産合計	365,975	372,774
資産合計	782,974	791,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	67,998	66,984
契約負債	2,619	1,899
社債及び借入金	72,203	54,029
リース負債	1,933	1,893
その他の金融負債	1,716	1,769
未払法人所得税	7,936	1,583
引当金	554	729
その他の流動負債	27,296	33,632
流動負債合計	182,259	162,522
非流動負債		
社債及び借入金	98,633	120,297
リース負債	4,077	4,213
その他の金融負債	747	743
退職給付に係る負債	12,103	12,181
引当金	3,411	4,505
繰延税金負債	11,355	13,676
その他の非流動負債	1,242	1,247
非流動負債合計	131,571	156,865
負債合計	313,830	319,388
資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,438	31,544
利益剰余金	332,888	333,941
自己株式	△12,078	△12,078
その他の資本の構成要素	39,857	41,912
親会社の所有者に帰属する持分合計	429,278	432,491
非支配持分	39,865	39,502
資本合計	469,144	471,994
負債及び資本合計	782,974	791,382

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	142,094	142,352
売上原価	115,949	117,664
売上総利益	26,144	24,688
販売費及び一般管理費	14,855	15,849
その他の収益	794	—
その他の費用	2,016	180
営業利益	10,067	8,658
金融収益	1,440	1,129
金融費用	231	208
持分法による投資利益	147	142
税引前四半期利益	11,425	9,721
法人所得税費用	4,004	2,801
四半期利益	7,420	6,920
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,776	6,416
非支配持分	644	503
四半期利益	7,420	6,920
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.80	31.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.78	31.16

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	7,420	6,920
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△92	2,361
確定給付制度の再測定	296	49
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	31	10
純損益に振り替えられることのない項目合計	235	2,420
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,925	△383
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△0	△5
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	36	△5
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,960	△395
税引後その他の包括利益	3,196	2,025
四半期包括利益	10,616	8,945
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,421	8,468
非支配持分	1,195	477
四半期包括利益	10,616	8,945

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益および業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼 鋼材	機能材料 ・磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	53,427	49,694	27,196	4,616	7,159	142,094	—	142,094
セグメント間の売上収益	18,112	4,641	9,012	156	4,638	36,560	△36,560	—
合計	71,539	54,336	36,208	4,772	11,797	178,654	△36,560	142,094
セグメント利益	3,319	2,962	2,800	240	754	10,077	△10	10,067

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼 鋼材	機能材料 ・磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	51,216	48,302	29,299	6,815	6,719	142,352	—	142,352
セグメント間の売上収益	16,718	4,399	8,356	130	5,158	34,762	△34,762	—
合計	67,934	52,702	37,655	6,945	11,878	177,115	△34,762	142,352
セグメント利益	2,596	3,057	1,446	680	851	8,633	25	8,658

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費及び償却費	7,384	7,477

3. 補足説明資料

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	実績			26/3中間期予想 (25/5/8公表)	
	前年同四半期 24/4-6	当四半期 25/4-6	前年同期差 (増減率)	中間期 25/4-25/9	前年同期差 (増減率)
売上収益	142,094	142,352	258 (0.2%)	275,000	-8,439 (-3.0%)
営業利益	10,067	8,658	-1,408 (-14.0%)	12,500	-5,758 (-31.5%)
調整後営業利益 ※	9,752	9,165	-587 (-6.0%)	13,400	-7,319 (-35.3%)
税引前利益	11,425	9,721	-1,703 (-14.9%)	13,000	-6,608 (-33.7%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6,776	6,416	-360 (-5.3%)	8,000	-4,152 (-34.2%)
鋼材売上数量 (単体)	262千t	253千t	-9千t	500千t	-19千t

※営業利益から特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を調整

(2) セグメント別売上収益・調整後営業利益

(単位：百万円)

	実績				26/3中間期予想 (25/5/8公表)			
	売上収益		調整後営業利益		売上収益		調整後営業利益	
	当四半期 25/4-6	前年同期差	当四半期 25/4-6	前年同期差	中間期 25/4-25/9	前年同期差	中間期 25/4-25/9	前年同期差
特殊鋼鋼材	51,216	-2,211	2,853	-84	99,000	-6,478	3,400	-2,887
機能材料・ 磁性材料	48,302	-1,392	2,568	-1,045	96,000	-4,116	5,300	-2,026
自動車部品・ 産業機械部品	29,299	2,102	2,226	-108	54,000	265	2,800	-2,115
エンジニア リング	6,815	2,199	664	462	12,000	1,412	500	-313
流通・ サービス	6,719	-439	826	152	14,000	477	1,400	23
消去	—	—	25	36	—	—	—	2
計	142,352	258	9,165	-587	275,000	-8,439	13,400	-7,319

(3) 調整後営業利益増減要因

当四半期の調整後営業利益増減要因（前年同期対比）

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	27	1. 固定費増加	20
2. 内容構成差他	6	2. 販売価格下落	12
3. 変動費改善	1	3. 販売数量減少	8
計 (a)	34	計 (b)	40
		差引 (a) - (b)	-6

(参考) 原料・為替市況

	前年同四半期 24/4-6	当四半期 25/4-6
H2 建値 (千円／t)	44.5	34.7
ニッケル (LME) (\$／lb)	8.3	6.9
為替レート (TTM) (円／\$)	155.9	144.6

(4) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前期 25/3末	当四半期 25/6末	前期差		前期 25/3末	当四半期 25/6末	前期差
流動資産	416,999	418,608	1,608	負債	313,830	319,388	5,557
現預金	61,218	62,287	1,068	営業債務	67,998	66,984	-1,013
営業債権	147,433	148,023	589	有利子負債	176,848	180,433	3,584
棚卸資産	195,483	194,981	-501	その他	68,984	71,970	2,986
その他	12,863	13,315	452	資本	469,144	471,994	2,850
非流動資産	365,975	372,774	6,799	親会社の所有者 に帰属する持分	429,278	432,491	3,213
有形固定資産	234,469	237,267	2,797	非支配持分	39,865	39,502	-363
その他	131,505	135,506	4,001	負債資本合計	782,974	791,382	8,407
資産合計	782,974	791,382	8,407				